

スカイランタンが幻想的な光で包み込んだ 全国の足立さん集まれ祭り



LEDのスカイランタンを打ち上げる参加者ら

8月26日、旧遠阪小学校で足立遠政^{とおまさ}の供養祭と全国の足立姓との交流を兼ねた「全国の足立さん集まれ祭り」が開催されました。

山垣地域に残る古文書の解説会や足立遠政について学ぶ歴史講座が行われ、参加者にとって地域や足立姓への理解を深める機会となりました。祭りのフィナーレにはたいまつに見立てたLEDのスカイランタンを同体育館で打ち上げ、会場を幻想的な光で包み込みました。

大災害に備え実践を想定した 兵庫県・丹波地域合同防災訓練を実施



ドローンで届けられてきた救援物資を確認する齋藤知事
(写真右から3人目)

9月3日、兵庫県と丹波地域の関係機関による合同の防災訓練が丹波市と丹波篠山市で行われました。警察や消防、自衛隊、医療機関など約800人が参加し、人名救助や避難所運営などの手順を確認。目視に頼らないドローンの自動飛行による救援物資を届ける実証訓練も行われました。

齋藤元彦^{もとひこ}知事は「実践を想定した有意義な内容だった。高い防災意識を持って繰り返し訓練を行っていくことが必要」と話しました。

将来を見据えた持続可能な地域づくりを支援 地域おこし協力隊に立石さん

9月1日に、地域おこし協力隊として、立石実希^{みき}さんが着任しました。自治協議会や自治会が地域の課題を正しく認識したうえで、組織体制の見直しや事業の棚卸しなどを行い、持続可能な地域社会の実現に向けた話し合いや学び合いの場づくりを支援します。

立石さんは、「丹波市や丹波の人とかかわり、地域づくりに自分らしく取り組んでいきたい」と抱負を述べました。



市長から委嘱書を手渡された立石さん(写真左)

JR 久下村駅前広場で夕涼みを満喫 久下村夜市を初開催

8月22日、JR加古川線久下村駅前の芝生広場で地酒やビール、ピザ、お好み焼きなど10店が出店する「久下村夜市」が開催されました。JR加古川線の利用促進のため丹波県民局と久下自治振興会が初めて開催。同線利用での来場を呼びかけたことから、開催時間帯の車内は乗客で混み合うなど賑わいを見せました。

参加者のひとは「久しぶりに乗車した。お酒も安心して飲めて楽しい」と話しました。



出店などで賑わいをみせたJR加古川線久下村駅前の芝生広場

舞台を中心に活躍する丹波市出身の俳優 新木宏典さんが市長表敬訪問



林市長と談笑する新木さん（写真左）

ミュージカルなど舞台を中心に活躍する丹波市出身で俳優の新木宏典さんが40歳の節目を記念に市内で撮り下ろしたフォトブック「新発見丹波ガイド」が発売されました。

8月6日に市内で行われたイベント「スプラッシュ!!丹波!!2023」に出演したほか、8月7日には市長を表敬訪問し「丹波市は人付き合いが深いのが魅力。フォトブックを読んで、訪れた先で地元の人と交流してほしい」と話しました。

夏休みに子どもが企画運営 こども食堂「かむ come キッチン」



来客に配膳する子ども

8月20日、山南住民センターでこども食堂かむ come キッチンが開催されました。子どもたちでメニューの考案から調理、会場の準備まで取り組むイベントで、丹波市社会福祉協議会山南支所が、小中学生を対象に夏休みのボランティア体験として企画しました。

ボランティアに参加した石正悠真くんは「自分たちの考えたメニューで、お客さんが喜ぶ姿が見れてうれしい」と話しました。

ピティナ・ピアノコンペティションで入選 3人が市長を表敬訪問

8月17日から21日に東京都で開催された第47回ピティナ・ピアノコンペティション全国大会に三輪小学校5年生の吉井陽向くん、春日部小学校2年生の吉見藍香さん、崇広小学校3年生の吉竹羽那さんが出場し、入選しました。

8月29日には市長を表敬訪問し入選を報告。吉井くんは「金賞が取れずに悔しい。来年こそ取れるように頑張りたい」と抱負を語りました。



林市長と記念撮影をする吉井陽向くん、吉竹羽那さん、吉見藍香さん（写真左から）

株式会社クレハと災害時における 物資調達に関する協定を締結

8月21日、丹波市と株式会社クレハが「災害時における物資調達に関する協定」を締結しました。災害発生時やその恐れがある場合、市は同社が保有する食品包装用ラップフィルムなどの物資について提供を受けることができます。

木田淳執行役員（生産・技術本部長）は「わが社は来年、柏原地域に柏原化成株式会社として設立してから65年目を迎える。協定を通して長年お世話になっている地域のお役に立てれば」と話しました。



協定書を掲げる木田執行役員（生産・技術本部長）（写真右）